

レジメンスケジュール

診療科	呼吸器外科
適応	非小細胞肺癌
レジメン	肺CDDP+S-1療法

申請・改訂日	
備考	

クール関連	
-------	--

使用した臨床データ	
がん化学療法レジメンハンドブック等	

全クール																					
投与順	抗がん剤	薬品名	投与量	投与方法	時間・速度	備考	day1	...	day8	day9	day10	day35		
①		酢酸リンゲル液	500mL	メイン①	60分				○												
②		硫酸マグネシウム 酢酸リンゲル液	8mEq 500mL	メイン②	60分				○												
③		マンニトール	300mL	側管①	60分				○												
④		アプレピタント		内服	⑤投与1時間前	点滴も可			125mg	朝80mg	朝80mg										
④		デキサメタゾン注	9.9mg	側管②	30分	①と同時に開始			○												
④		パロノセトロン注	0.75mg								○										
④		生理食塩液	50mL								○										
⑤	○	シスプラチン 生理食塩液	60mg/m2 500mL	側管③	120分	total500mL			○	シスプラチン投与後数日間は飲水励行。補液追加も検討を。											
⑥		フロセミド注 生理食塩液	20mg 50mL	側管④	30分				○												
⑦		酢酸リンゲル液	500mL	メイン③	120分				○												
⑧		酢酸リンゲル液	500mL	メイン④	120分				○												
⑨		酢酸リンゲル液	500mL	メイン⑤	ルートキープ	翌朝まで			○												
⑩	○	S-1	40mg/m2/回	内服	1日2回朝夕		day1-21後休薬(3投2休)														
						体表面積1.5m2以上: 120mg/day 体表面積1.25~1.5m2: 100mg/day 体表面積1.0m2以下: 80mg/day															
⑪		デキサメタゾン	8mg	内服						○	○										

終了

投与量	S-1(mg/日)		
	1.25m2未満	1.25-1.5m2	1.5m2以上
通常量	80	100	120
1段階減量	休薬	80	100
2段階減量	休薬	休薬	80

Ccr(mL/min)	シスプラチン	S-1
80以上	-	初回基準量
60~80	-	初回基準~1段階減量
※30~60	50%減量	原則として1段階以上減量

※30~40mL/minでは2段階減量が望ましい

減量・中止基準

シスプラチン

副作用	程度	対処法
血液毒性	G4	20～25%減量
腎機能障害	前頁参照	前頁参照

S-1

副作用	程度	対処法
血液毒性	G4	1段階減量
非血液毒性	G3以上	1段階減量